学校番号	403

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「読み解く古文　②」　（浜島出版）						
副教材等	「古文単語 330」（文英堂　出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「国語演習Ⅰ」では、古典を学習します。多彩な古文・漢文に親しむことにより、言語感覚を養い古典文学への関心を深める。更に、問題演習を中心に、古典に関する深い知識と読解力を身に着けよう。

2　学習の到達目標

・作品読解に必要な文法を理解する。
・幅広く語彙力をつける。
・作品の歴史的背景や、現在との文化の相違点などを知る。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着け、我が国の古典に対する理解をふかめている。	古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、伝統の中での自分の思いや考えを広げたり深めたり、検証している。	言葉を通じて、他者や社会とかかわり、自他の存在について理解を深めようとしている。古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	［教材］ 1『古今著聞集』 2『宇治拾遺物語』 3『紫式部日記』 4『十訓抄』	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:和歌について調べたこと、知っていることについて話し合おうとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表 レポート
二学期	5『更級日記』 6『徒然草』 7『枕草子』 8『無名抄』 9『枕草子』 10『大鏡』	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[　読　]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:作者を調べて、作品の世界を構より深く理解しようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表 レポート
三学期	11『平家物語』 12『御伽草子』 13『建礼門院右京大夫集』 14『無名草子』	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[　読　]:必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:本歌や本説などにも興味をもち、和歌だけでなく当時の歌人や貴族のことを理解しようとする。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表 レポート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間